

事務事業評価シート

(評価対象年度：平成30年度)

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名		看護職養成運営補助事業				②事業番号		4206	
③事業類型		7. 負担金・補助金事業		④開始年度		平成 11 年度	⑤終了予定年度		年度 ○ 設定なし
⑥根拠法令等		○ 法令	条例	規則	○ 要綱	計画等	その他 法令等の名称: 看護師等の人材確保の促進に関する法律		
⑦実施手法		直営	全部委託	一部委託	○ 補助・負担	その他			
⑧関連予算科目コード		款	4	項	1	目	2	細目	3
⑨担当部名		健康福祉部		⑩担当課名		保健推進課		会計 一般会計	

2. 事務事業の現状把握【DO】

【1】事務事業の目的・事業内容

(1)対象(誰、何に対して事業を行うのか)		対象指標(対象者数を表す指標)		単位
① 泉佐野泉南医師会看護専門学校		① 在校生(H30.4.1 現在)		人
②		②		
(2)事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか)		活動指標(活動の量を表す指標)		単位
泉佐野泉南医師会看護専門学校の看護師養成に対して、運営の一部を補助する。		① 卒業生(H30.3.31 現在)		人
		②		
		③		
(3)意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)		単位
泉佐野以南で唯一の看護学校であり、地域医療に欠かせない看護職を養成し、泉州地域で働く看護師不足を解消する。		① 市内医療機関に就職する卒業生		人
		① 計算式		
		② 計算式		
		③ 計算式		
(4)結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつくか。上位施策との関連)		総合計画体系上の位置付け		
看護師不足を解消し、地域医療の充実を図る。		政策(章) 2 みんなが健やかで、みんなが助け合うまち		
		施策大(節) 2 すべての市民が生涯にわたって健康な生活を送れるまちをめざします		
		施策中 1 医療環境の充実		
		施策小 1 地域医療体制の充実		

【2】各種指標値、事業費の推移

	指標名	単位	H28実績	H29実績	H30実績	R1見込	R2目標	
対象指標①	在校生(H30.4.1 現在)	人	123	127	127	127	127	指標値の推移における 特殊要因などの説明
対象指標②								
活動指標①	卒業生(H30.3.31 現在)	人	37	39	36	36	36	
活動指標②								—
活動指標③								
成果指標①	市内医療機関に就職する卒業生	人	4	5	4	4	4	
成果指標②								事業費などの推移における 特殊要因などの説明
成果指標③								
事業費	投入人員	正職員	人	0.01	0.01	0.01	0.01	
		任期付職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00	
		臨時職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00	
	事業費	人件費(投入人員*単価)	千円	80	80	81	81	
		直接事業費	千円	1,498	1,498	1,498	1,498	
		総事業費	千円	1,578	1,578	1,579	1,579	—
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	
	府支出金	千円	0	0	0	0	0	
	受益者負担金	千円	0	0	0	0	0	
	その他特定財源	千円	0	0	0	0	0	
	一般財源	千円	1,578	1,578	1,579	1,579	1,579	

【3】事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	看護師不足は深刻であり、地域に根ざした看護職の養成が必要になってきたため。
②開始から現在までこの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	超高齢化社会なり、今後ますます地域医療が必要となり、人材確保が急務となってくる。
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	—

3. 事務事業の評価【CHECK】

〔1〕目的妥当性(必要性)

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔1〕の評価

A

評価項目	評価及び理由・説明等	
①事務事業の意図すること(目的)は、上位施策(施策小)の達成に貢献しますか。	ア. する イ. ある程度 ウ. しない	看護師不足を解消することは、地域医療体制の充実につながる。
②税金を使って達成する目的ですか。 (市が関与する必要がありますか、市民(特に納税者)の納得が得られますか。民間に類似サービスはありませんか。)	ア. はい イ. ある程度 ウ. いいえ	地域医療体制の強化のため、看護職の養成は、市が支援すべきである。
③対象範囲、単価、事業費規模は市民のニーズや社会環境に合っていますか。 (他団体と比較してどうですか。)	ア. 合っている イ. ある程度 ウ. いない	地元での看護師不足が懸念されており、社会環境に合っている。
④事務事業を休止・廃止した場合、市民生活(あるいは上位施策)への影響はありますか、ある場合それは大きいですか。	ア. 影響がある イ. ある程度 ウ. ない	卒業生の8割が3市3町に就職し、そのうち市内の医療機関に5人就職しており、影響が大きいと思われる。

〔2〕有効性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔2〕の評価

A

⑤期待どりの成果が得られていますか。	ア. 得られている イ. ある程度 ウ. いない	卒業生の8割が3市3町に就職し、そのうち市内の医療機関に4人就職しており、看護師不足の解消に貢献できた。
⑥今後事務事業を工夫することで成果向上の余地はありませんか。 (事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができますか。)	ア. ある イ. ない	事業内容等について評価し、課題等を確認していくことができるよう支援する。
⑦庁内の他部署で、類似の目的を持つ事務事業はありませんか、それらと統廃合や連携を行うことで、より成果を向上できませんか。	ア. 類似なし イ. できる ウ. できない	—

〔3〕効率性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔3〕の評価

B

⑧成果を下げずに事業を工夫してコスト(直接事業費+人件費)を削減する手法はありませんか。 (業務改善、業務の委託化、委託業務内容の見直し、IT化などはできませんか。)	ア. ある イ. ない	補助事業の内容等については、今後医師会と関係市町とで協議を行う。
⑨受益者負担の適正化余地はありませんか。 (歳入確保はできませんか。)	ア. ある イ. ない	補助事業であり、受益者負担の考えは適さない。

4. 総合評価

総合評価	評価(A~D)	個別評価の結果を踏まえて課題等を整理	A:現状のまま事業を進めることが適当 B:事業の進め方に改善が必要 C:事業規模、内容、実施主体の見直しが必要 D:事業の統合、休止・廃止の検討が必要
	A	地域医療体制の充実には、今後も行政の支援及び看護学校との協力が不可欠である。	

5. 改革、改善案【ACTION】

<今後の方向性>

ア	ア. 現状のまま継続	イ. 見直しのうえで継続	ウ. 終了 (年まで)	エ. 休止 (年から)	オ. 廃止 (年から)
	<今後の展開方針> a. 重点化する(集中的なコスト投入) b. 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える) c. 効率化する(コストを下げる) d. 簡素化する(規模を縮小する) e. 統合する(他の事務事業と統合する)				
①改革、改善の具体案、実施年度など		—			
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策		—			